



南小だより

平成25年度

平成25年12月13日発行
妙高市立妙高高原南小学校

ひまわりフェスティバル、大いに盛り上がりました

11月14日(木)の5・6限に、「ひまわりフェスティバル」を行いました。このフェスティバルのねらいは、「生活科・総合学習、課外活動、教科等の学習で1年間お世話になった方々に感謝の気持ちを持ち、これからも地域の人たちとのつながりを大切にしていこうという心情を培う」ことです。

縦割り班の8グループが、趣向を凝らした遊びやゲームのコーナー(お店)を作り、ゲストとして招待した地域の方々から大いに楽しんでいただこうと一生懸命頑張りました。また、学年ごとにステージ飾りや招待状づくり、「ありがとう」メッセージ、会の進行役などを担当しました。

いつもは先生方や上学年の子どもたちからお世話になることの多い低・中学年の子どもたちも、当日はゲストの方たちや全校の子どもたちを楽しませる立場になり、とても楽しそうに生き生きと活動していました。ゲストの皆さんも童心に返り、心からゲームを楽しまれたようです。とてもよい笑顔が印象的でした。



米こめサミット～北小と交流発表～

「米こめサミット」は、妙高市の基幹産業である稲作について、総合学習等を通して多面的に考え、自分の考えを創り、発信する子どもを育成する目的で、毎年、開催されています。

11月20日(水)午後、市内全小学校の5年生約300名が文化ホール等に集い、互いに発表し合ったり、他校と交流したりしました。

当校の5年生は、杉野沢や学校田(池を改造したもの)での稲作について調べたことを、「稲作の現状と課題」「農家の人々の思いや願い」「これからの高原地区の稲作」「自分たちにできること」などの観点からまとめ、さまざまな資料を使いながら分かりやすく説明しました。また、妙高高原北小学校と討論会を行い、自分たちが調べたことと比較しながら考え、積極的に質問をすることを通して、学びを深めることができました。



発表する荒井萌々さん



発表に聞き入る子どもたち



全体発表の峰村岳臣さん

国語の研究授業

妙高市には、市内の小中学校・特別支援学校の教職員で組織する「妙高市教育研究会」があります。今年度から組織及び事業の見直しをなされ、教師の授業力を高めるための研修の充実に努めています。

11月7日(木)、国語部が南小を会場にして研究授業を行いました。新学習指導要領により新たに加わった古典学習をどのように行ったらよいか、新井中 後藤弘彦先生が授業者として、5年生と授業を行いました。後藤先生が楽しく分かりやすく授業を進めてくださったので、子どもたちは無理なく古典の世界に入ることができました。また、普段と違う先生から教わることも新鮮で、子ども

たちは意欲的に授業に取り組みました。



就学時健康診断

11月12日(火)、来年度の新入学予定者を対象とした就学時健康診断を行いました。今のところ男子8名、女子9名、計17名で、今後変動がなければ、来年度初めの児童数は83名(今年度比+4名)になる予定です。

今年度は新入生が8名で、今後どうなるのかと随分心配しましたが、どうやら持ち直したようでほっとしています。

移行学級(体験入学)は、来年2月25日(火)の予定です。



スキー部結団式

11月15日(金)、スキー部結団式を行いました。昨シーズンは、例年になく好成績のラッシュで大いに沸きましたが、今シーズンもさらなる活躍を期待しています。

先日、信越学童親善スキー大会実行委員会が行われ、大会日が来年2月21日(金)に決定しました。

いよいよ本格的なスキーシーズン到来です。子どもたちは、早く雪が積もることを待ちながら、基礎体力作りに取り組んでいます。



「頑張るぞ!」 「オー!!!」

妙高高原芸能祭

11月17日(日)、妙高高原メッセで「妙高高原芸能祭」が開催されました。当校からは、金管クラブや課外音楽部の4・5・6年生が出演し、大勢の聴衆の前で素晴らしい歌声と演奏を披露しました。曲目は、『ミッキーマウスマーチ』(金管)『YELL』(合唱)です。限られた練習時間の中でよく練習し、堂々と発表することができました。



平成 25 年度 全国学力・学習状況調査の結果 part2

先月号で、文部科学省が実施した「平成 25 年度全国学力・学習状況調査」における当校の「学力」を紹介しました。今回は、子どもたちの「学習状況」について紹介します。学習状況調査は、子どもたちに質問紙を配布し、国語や算数への関心、規範意識、自尊感情、生活習慣、学習習慣などに関する 82 の質問に答えてもらう形で行われています。（6 年生が対象）

それによると、全国基準や県基準を全ての領域で上回っています。南小の子どもたちは学力だけでなく、学習状況についても良好な状態にあると言えます。南小の高い学力は、良い学習状況によって支えられているのではないのでしょうか。

質問事項で特に割合が高いものは、「難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか」「自分には、よいところがあると思いますか」「友達の前で自分の考えを発表することは得意ですか」「自分の行動や発言に自信を持っていますか」「友達に伝えたいことをうまく伝えることができますか」「将来の夢や目標を持っていますか」などでした。自己肯定感が強く、将来を見据えて、努力しようとしている南小の子どもたちの前向きな様子が見て取れます。

一方、全体的な傾向としては良好ではあるものの、個別に見ていくと全国基準や県基準に比べて低い割合を示しているものもあります。例えば、「学校の授業時間以外に、普段、1 日当たりどれくらいの時間、勉強しますか」について、当校の子どもたちは「1 時間以上 2 時間未満」が最も多く、これ自体は全国・県と傾向は変わりませんが、「普段 3 時間以上」「休日 4 時間以上」と答える子どもの割合は 0% でした。ここが全国・県と大きく異なる点です。都市部では、学習塾など家以外の場で学習しているケースが多いので、こういう結果となっているのではないかと分析しています。

南小の取組が全国で紹介されました!!

ベネッセ教育総合研究所では、教育情報誌「VIEW21」^{ビュウ}〔小学版〕を年 4 回発行し、全国の小学校に配布しています。このたび「家庭学習で学ぶ意欲を伸ばす」という特集が生まれ、南小の取組が 4 ページにわたって紹介されました。「授業と授業を結ぶ家庭学習」や「主体性を育むノート指導」の実践が、全国レベルの先進的な取組として高く評価されたようです。このことにより、職員も大いに自信をもち、ますます意欲的に子どもたちの指導に当たろうと張り切っています。スキーだけでなく、勉強でも南小は頑張っています。

皆様の変わらぬご理解・ご支援をお願いいたします。



南っ子の活躍

☆第2回 日本漢字能力検定 合格<11/1 実施, 公益財団法人 日本漢字能力検定協会>

- 4級 6年 小俣 竜也
 5級 6年 鴨井 岳士 6年 後藤 泰一 6年 引場 大兄
 6級 5年 芦野 舞花 5年 岡田 未有 5年 後藤 雅貴 5年 平塚 美希
 5年 峰村 岳臣
 8級 4年 森 葵 4年 吉越 優希
 9級 2年 岡田 陽色 2年 峰村 知宏(満点賞) 3年 竹田 芽生
 3年 宮下 美菜(満点賞) 3年 山川 結子
 10級 1年 森 尊(満点賞) 2年 郷戸 陽葵

※ 受検者全員が合格しました。うち3名が満点賞でした。大変よく頑張りました。さらに上を目指して頑張ってください。

☆1・2学期 漢字力・計算力テスト満点賞(漢字力・計算力テストの両方で満点をとった子どもが該当します)

1学期		2学期	
1年	相馬 啓汰	1年	瀧澤 咲姫
1年	森 尊	1年	山川 香
2年	宮下 美幸	2年	ボルウェル リオン ウィル
4年	新井 咲希	3年	原田 楓太
4年	引場 彩乃	4年	佐藤 瑠奈
5年	原田 夏菜	4年	引場 彩乃
6年	小俣 竜也	4年	三住 幸
		4年	望月 雪華
		6年	鴨井 岳士



☆学校茶道「奨励賞」<一般社団法人 裏千家淡交会総本部>

6年 池田 結花, 宮腰 サラ, 吉澤 季里子



12月の行事予定

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| 2日(月) 委員会活動 | 17日(火) 交流朝会 |
| 3日(火) 全校朝会, 個別懇談① | 18日(水) 課外なし |
| 4日(水) 個別懇談② | 20日(金) 終業式, 給食最終, 期末大清掃 |
| 5日(木) 漢字力テスト | 23日(月) ㊦天皇誕生日 |
| 6日(金) 児童朝会 | 24日(火) 冬季休業(~1/7), スキー課外 |
| 9日(月) 委員会活動 | 25日(水) スキー課外 |
| 10日(火) 音楽朝会, チャレンジタイム | 26日(木) スキー課外 |
| 11日(水) 実践力向上研修(保健, 4年) | 27日(金) スキー課外 |
| 12日(木) 地区子ども会(6限) | |
| 16日(月) 清掃強調週間(~20日), 課外なし | |

